

若年性認知症カフェを活かした 本人ミーティングの開催

越谷市地域共生部地域包括ケア課

認知症地域支援推進員 浅野 郁美



越谷特別市民
ガーヤちゃん

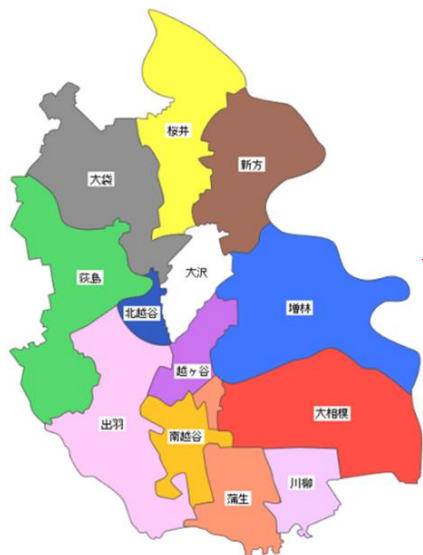
本日の内容

- 1 越谷市の概要
- 2 越谷市の認知症カフェ
- 3 本人ミーティングの実施

越谷市の概要

越谷市の概要

(令和4年4月1日現在)



日常生活圏域
13圏域

- 総人口 344,674人
- 65歳以上 87,859人
(高齢化率 25.5%)
- 75歳以上 46,349人
- 地域包括支援センター 12か所
(すべて委託)
- 認知症地域支援推進員 36人
(委託包括と市に兼務で配置)

越谷市の認知症カフェ

越谷市の認知症カフェ（オレンジカフェ）

越谷市オレンジカフェ MAP ～令和4年10月現在～

①開催場所 ②開催日時 ③問い合わせ先

※感染症拡大の影響により休止もしくは内容の変更をしている場合がございます。
詳しくは、問い合わせ先にご確認ください。

こちらののぼり旗が目印です！



【よしカフェ】

- ①居宅介護支援事業所
ケアプランよし(平方 1708-1)
- ②不定期
(木曜日午前 10 時～12 時)
- ③971-6043
- ※参加費:100 円

【せさみ*知恵の扉開けコマ*】

- ①新方地区センター「なのはな」
- ②毎月第1・3木曜日
午後 1 時 30 分～3 時
- ③090-1801-0924(代表:松野氏)
- ※参加費 500:円

【オレンジカフェども】

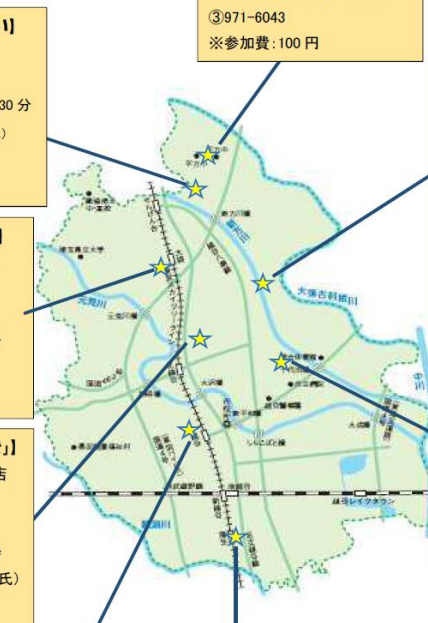
- ①新方地区センター「なのはな」
- ②毎月第 1 月曜日
午後 2 時 30 分～4 時 30 分
- ③974-0619(代表:藍澤氏)
- ※参加費:500 円

【がーヤカフェ】

- ※ 若年性認知症カフェ
- ①コミュニティ café そらはな
- ②毎月第 1 土曜日
午後 2 時～4 時
- ③963-9163(地域包括ケア課)
- ※参加時、ワンドリンクオーダー

【コミュニティcafé そらはな】

- ①コミュニティ café そらはな
(花田 7-10-3 1 階)
- ②毎月第 3 木曜日
午後 2 時～4 時
- ③940-5097
- ※参加費:100 円



【オレンジカフェさくらい】

- ①安国寺(大泊 910)
- ②毎月 20 日前後
午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- ③976-1659(代表:益田氏)
- ※参加費:200 円

【「ふらっと」おおぶくろ】

- ①「ふらっと」おおぶくろ
(袋山 1435-16)
- ②毎月第 3 金曜日
午後 2 時～3 時 30 分
- ③963-9163
(地域包括ケア課)

【オレンジカフェ「つなぐ」】

- ①ウエルシア越谷大房店
(大房 1108-1)
- ②毎月第 2 水曜日
午後 1 時 30 分～3 時
- ③975-6341(代表:川合氏)
- ※参加費:100 円

【はあべすと】

- ①赤山町 1-57-1 1 階
- ②毎月第 3 水曜日
午前 10 時～12 時
- ③971-8849
- ※参加費:100 円

【「ふらっと」がもう】

- ①「ふらっと」がもう
(蒲生寿町 17-12)
- ②毎月第 4 水曜日
午後 2 時～3 時 30 分
- ③963-9163
(地域包括ケア課)

現在、開催している認知症カフェ **11** か所
(※ 1 か所はマップ掲載未)

- 地域住民が主体… 6 か所
 - 事業所等が主体… 2 か所
 - 行政が主体… 3 か所
- うち 1 か所が若年性認知症カフェ

越谷市の認知症カフェ 「ガーヤカフェ」

埼玉県は令和3年9月2日、「**埼玉県オレンジ大使**」の任命式を行い、若年性アルツハイマーの診断を受けている菊地大輔さんと渡邊雅徳さんに大野知事が任命書を手渡しました。

菊地 大輔さん



① プロフィール・経歴

- ・越谷市在住（草加市出身）
- ・若年性アルツハイマー型認知症の診断を受ける。

② 本人からのメッセージ

「40代で発症して今の私は、いろんな方と出会い前向きに生活しています。これからも若年性アルツハイマーと向き合って家族と共に頑張っていきたいと思っています。」

渡邊 雅徳さん



① プロフィール・経歴

- ・鴻巣市在住（鳥取県出身）
- ・40歳の頃、若年性アルツハイマー型認知症の診断を受ける。
- ・また、令和元年6月から若年性認知症のカフェ「リンクカフェ」運営スタッフとして活動している。

② 本人からのメッセージ

「40歳で発症し、様々な出会いをきっかけにやる気を取り戻し、講演活動や就職活動を頑張っています。」

若年性認知症カフェ 「がーやカフェ」 (令和3年10月～開催中)

毎月第1土曜日 14:00～16:00

若年性認知症の方が集える場
がーやカフェ



若年性認知症の方とその家族、専門職の方、どなたでも自由に参加できます
密を避けるため、事前申し込み制とし定員を12名としています



申込方法 完全予約制 1週間前までにお電話又はメールでお申し込みください
※開催時間中 入退出は自由になります

費用 お一人様につきワンドリンクのご注文をお願いします(有料:350円～)

場所 「コミュニティ café そらはな」
埼玉県越谷市花田7-10-3 キーウエスト1F ※令和4年9月に移転しました
☎:048-940-5097

東武スカイツリーライン「越谷駅」東口
東武スカイツリーライン「新越谷駅」/東武東上線「南越谷駅」
より、バスにて「花田苑入口」下車 (100m)

申込先 越谷市 地域包括ケア課
☎: 048-963-9163
または
若年性認知症サポートセンター
☎: 048-814-1212
メール:jakunen2017@sage.ocn.ne.jp



菊地さんへの支援を考える中で、
若年性認知症カフェの開催について検討。

埼玉県若年性認知症サポートセンターに
協力いただき、立ち上げに至った

開催場所は、すでに市内で認知症カフェを
開催していた、**地域のコミュニティカフェ**に相談

月に1回、カフェスペースを無料で借用
(ワンドリンクオーダー制)

若年性認知症カフェ 「がーやカフェ」 (令和3年10月～開催中)

本人グループと家族グループに分かれて着席

家族グループ：主に情報交換

本人グループ：主に歓談・トランプなどのゲームをして過ごす



令和4年度平均参加者数：12人
(県東南部在住の方が多い)

毎回、**埼玉県オレンジ大使 菊地さん**に
ピアサポーターとして運営に協力いただいているほか、
県若年性認知症サポートセンターにも協力いただいています。



本人ミーティングの実施

本人ミーティングの開催に至るまで①

第8期埼玉県高齢者支援計画

令和3年度～令和5年度
(2021年度～2023年度)



埼玉県のマスコット「コバトン」と「さいたまっち」

彩の国  埼玉県

第3節 認知症施策の総合的な推進（埼玉県認知症施策推進計画）

数値目標	現状値（令和2年度）	目標値（令和3年度末）
埼玉県版「希望大使」の設置	未設置	設置

数値目標	現状値（令和2年度）	目標値（令和5年度末）
「本人ミーティング」を開催している市町村数	6市町村	全市町村

数値目標	現状値（令和2年度末）	目標値（令和5年度末）
県内における若年性認知症カフェの数	6か所	10か所

でも、本人ミーティングを施策に反映する
って、一体どうしたらよいのだろうか…



本人ミーティングの開催に至るまで②



県ケア課の松山さん

越谷市さん、一緒に若年性認知症カフェで
本人ミーティングやってみませんか？

なんと心強い！ それならぜひ！！



本人ミーティング開催ガイドブック



目次

ガイド

- ①本人ミーティングを知る 1
- ②本人ミーティングを企画・準備する 4
- ③本人ミーティングを開催する 18
- ④本人ミーティングを活かす 22

トピックス

- トピックス 24

開催例

- 認知症の本人とさまざまな専門職が地域食堂で集い、共にできることを見つけて即実践 (北海道北見市) 26
- 企画から実施、活動のすべてのプロセスで本人が中心的な役割を担う (宮城県仙台市) 28
- 以前からあった2市にまたがる認知症カフェを活かして開催 (東京都国立市・立川市 広域) 30
- ふだん利用しているデイサービスを拠点に、地域の中で活動する「本人ミーティング」 (東京都町田市) 32
- 地域に根差した小規模多機能で本人の話を聴き、日々の暮らしや支援、地域の取り組みに活かす (長野県上田市) 34
- 本人・家族の声をきくことを基本方針に、認知症ケアパスづくりに活かす (静岡県富士宮市) 36
- NPO 法人の日頃の活動をベースに本人ミーティングを開催 (大阪府大阪市) 38
- 県から委託を受け、県社協が事務局をつとめる「若年性認知症とともに歩むひょうごの会」の活動の一環として開催 (兵庫県) 40
- 気軽に声をかけあい、行政・包括・住民活動が一体となって開催 (香川県綾川町) 42
- 認知症の本人の声から始まった本人交流会を土台にして開催 (福岡県大牟田市) 44

まずは他自治体の取組みを知る！

本人ミーティングとは・・・（あらためて）

認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、**暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場**

認知症の人の視点を重視したやさしい地域づくりを具体的に進めていくための方法

「本人ミーティング開催ガイドブック」より抜粋

① 企画書の作成

今、困っていることは
なんだろう

ガーヤカフェのこと、
どう思っ
てくれているのか



今の取組に足りない
ことはなんだろう

③ 事前打合せ…埼玉県地域包括ケア課とZOOMで実施

初めに

- ・ カフェの楽しいところ、いいところは？
- ・ 「認知症」ってどんなイメージ？

生活について

- ・ これからしてみたいこと、目標は？
- ・ 何をしているときが楽しい？

地域について

- ・ どんな地域だと住みやすい？
- ・ 近くの地域で面白いイベントや取組は？

行政について

- ・ 県や市にやってもらいたいことは？ある
とうれしい制度は？
- ・ 行政の取組で助かっていること、あって
よかったなと思うことはある？

こんなテーマでやってみよう！



④ 開催



認知症本人 5人に協力いただいで実施

進行役：埼玉県 と 越谷市

④ 開催

テーマ1 「このカフェの楽しいところ」

トランプができて、楽しい。

同じ立場どうしだから楽しく過ごせる。

土曜日開催なので、仕事が休みの日に来られる。
職場では話せないことが言い合える。

カフェのさらなる**周知**と**継続支援**が重要！

特に就労している方にとって、**土曜開催のカフェが貴重な場**になっている。

④ 開催

テーマ2 「認知症のこと、どう考えているか」

病気になったのは、しょうがない。

他の病気と何が違うのか。特殊な状態ではない。

病気がことが分かってもらえたら、
普通と変わらないと気づいてもらえると思う。

認知症の本人の声を届ける機会を作っていく必要がある。

④ 開催

テーマ3 「これからやってみたいこと」

スカイダイビング、バンジージャンプなど、
新しいことに挑戦したい。

最近、学生時代の友人に会えて楽しかった。
また会いたい。

挑戦したいことをサポートできる支援体制

実現の妨げになっている要因について考えていく必要がある。

④ 開催

テーマ4 「講演活動やオレンジ大使の活動について」

自分の気持ちを話すことに抵抗はない。

みんな話を聞きたくて来てくれるし、
恥ずかしいとは思わない。

言葉に出すことは大事だと思う。

「言葉に出すこと」を支援していく必要がある。

⑤ 振り返り会の実施（ZOOM）

メンバー

埼玉県、若年性認知症サポートセンター、越谷市

良かった点

- **認知症カフェがベース**であったため、いつもの**カフェの延長**で開催でき、**和やかな雰囲気**で進められた。
- 意図して質問を投げかけてくことで、**深いお話を引きだせた**。

反省点

- **話を引き出す技術**が必要
- **座席の配置**やスタッフの**役割分担**を効果的に！
- **テーマを目に見える形で提示**する

⑤ 振り返り会の実施 (ZOOM)



「開催に必要な確認と配慮」が大切！



「本人ミーティング開催ガイドブック」より抜粋

まとめ（開催を通して見えたこと）

- 1 **事前の準備や段取りをよく確認**しておくことが大切
- 2 **1回でやり切れるものではなく、継続**していくことが重要
- 3 本人ミーティングの開催が、**市施策の意味付け**に繋がる！！

まとめ（今後の方向性）

- **認知症の本人の声を届ける機会を作る。**
- **言葉に出すことを支援していく。**
 - ▶ 認知症サポーター養成講座等において、**認知症の本人の講演**を実施（令和3年度から定期的に実施中）
 - ▶ **アルツハイマー月間**での取組、**認知症ケアパス**に「本人の声」掲載
- **挑戦したいことをサポートできる支援体制**
 - ▶ 認知症のご本人が**できることを一緒に**探していきたい！

原点に立ち戻って・・・

仲間がいるっていいなあ

～認知症の人と家族の会が提言する

「認知症にやさしいまち」～

- ① 認知症をみんなが正しく理解しているまち
- ② 困っている人がいたら、さりげなく手を差しのべる行動ができるまち
- ③ 地域みんなが認知症のことを自分事として考えているまち
- ④ 認知症を特別扱いしないまち

仲間がいるっていいなあ
「認知症の人と家族の会」が提言する「認知症にやさしいまち」

世界中で、認知症にやさしいまちづくりに取り組むまちが増えています。認知症の人とともにいる日常が目の前にあります。そこで「認知症にやさしい」とは、どういうことか、当事者の会である「認知症の人と家族の会」では、認知症の人や介護家族や専門職、支部世話人、サポーターが集まり、「認知症にやさしいまち」について話し合いまとめました。

話し合いの中で「仲間がいるっていいなあ」という体験談が語られ共感しました。みなさまのまちでの「認知症にやさしいまちづくり」にこの提言を取り入れていただき、認知症の人と家族をやさしく仲間とし、つながるまちが全国に広がることを願っています。

はじめに

「家族の会」が考える認知症にやさしいまちとは
仲間がいるまち、つながるまち

- ① 認知症をみんなが正しく理解しているまち **〈教育〉**
- ② 困っている人がいたら、さりげなく手をさしのべる行動ができるまち **〈つながる〉〈関心〉**
- ③ 地域みんなが認知症のことを自分ごととして考えているまち **〈発信〉**
- ④ 認知症を特別扱いしないまち **〈啓発〉〈創る〉**

公益社団法人
認知症の人と家族の会
Alzheimer's Association Japan

原点に立ち戻って・・・

啓発 認知症のバリアフリーをめざすまち

●…本人 ▲…家族

具体的な内容

- 認知症の人のできないことをサポートするというより、人できることを探す、できる環境を創るといった発想の転換ができる人がいる、場所がある
- 地域で認知症を学ぶ機会がたくさんある
(町内会や商店街、企業・事業所等の認知症サポーター養成講座等)
- 認知症情報が共有できるネットワークやアプリケーションがある

当事者の声

- 困っている時に自然と助けしてくれる人がいる
- ▲ 人としての関わり方として認知症のことを知ってほしい
- ▲ 偏見や差別がなくなるといい




発信 思いを発信し、受け止めあえるまち

具体的な内容

- 認知症の人や家族の“言葉にできない心の声”を、聴いてくれる人がいる、場所がある
- 認知症の人の講演や認知症の人の家族の講話などをだれもが聴くことができ、直接、話を聴き交流できる場がある

当事者の声

- [字が書けない] [名前が言えない] そんな自分が自分でなくなる怖さがある
- [これからどうなっていくのか] 不安がある
- ▲ 話が通じないこともあり、何を思っているかわからないときもあるけど、本人がそこにいることを自然に受け止めていきたい



「仲間がいるっていいなあ」 冊子より抜粋

原点に立ち戻って・・・

第8期越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

地域の理解と協力のもと、
認知症の人が尊厳と希望をもって、
日常生活を過ごせる社会や、
認知症の有無にかかわらず、
共に生きていくことができる社会を目指していく



ご清聴ありがとうございました

